

令和8年度 一般選抜 「化学基礎」 出題の意図

第1問（物質の分離・精製）

混合物から目的の物質を取り出す各種の分離操作について、その原理と適用場面を結び付けて理解しているかを問う問題である。

第2問（熱運動と物質の三態）

固体・液体・気体の間で生じる状態変化の名称を、粒子の熱運動の視点から正しく整理して捉えられるかを確認する問題である。

第3問（電子配置と周期表）

周期表における元素の配置と分類の対応を理解し、代表的な元素群の位置を的確に判別する力を評価する問題である。

第4問（イオンとイオン結合）

イオンの生成とイオン結合のしくみ、およびイオン結晶に共通する性質について、基本的な理解を確かめる問題である。

第5問（物質量）

モル概念に基づき、質量・物質量・気体の体積・粒子数を相互に換算する基礎的な計算処理能力を問う問題である。

第6問（物質量）

質量パーセント濃度とモル濃度の定義を理解し、溶質と溶液の関係を踏まえて濃度を求める計算処理能力を評価する問題である。

第7問（酸・塩基と中和）

中和滴定の一連の操作を想定し、各段階で用いる実験器具を目的に応じて適切に選択できるかを問う問題である。

第 8 問（酸化と還元）

ダニエル電池を題材に、イオン化傾向と電子の授受を関連付けて電池の反応を捉えられるかを評価する問題である。